

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・丹波篠山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	篠山市の文化遺産を活かした地域活性化事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>篠山市は篠山盆地を中心としたコンパクトな領域の中に、歴史的な町並みや農村集落、それらを取り巻く田園風景が広がっており、また祭礼行事や民俗芸能などの伝統文化が今なお息づいており、日本の原風景ともいえるべき空間を作り出している。平成22年度に策定した篠山市歴史文化基本構想の考え方を踏まえ、篠山市固有の歴史文化の主要な構成要素である文化遺産を、地域のまちづくりに積極的に活用するために、地域主体の取り組みが実施される体制を目指す。</p> <p>※篠山市歴史文化基本構想はURL (<a href="http://www.city.sasayama.hyogo.jp/pc/group/shakaikyoiku/city-planning/post-24.html">http://www.city.sasayama.hyogo.jp/pc/group/shakaikyoiku/city-planning/post-24.html</a>) にて公開。</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、篠山市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。</p> <p>主な担当課、役割</p> <p>教育委員会文化財課：文化財の取り扱い等に関する指導、体験事業に関する調整等</p> <p>商工観光課：観光業務に関する連携</p> <p>また、事業の実施については、次の団体が実施。</p> <p>篠山市歴史文化活用実行委員会（会長 今井 進） （構成団体：井ノ上自治会、福住中区自治会、下立町自治会、篠山市、篠山市教育委員会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 55,151 千円	平成31年度申請額： 5,608 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本計画に基づく事業を実施することにより、市民の伝統文化を初めとする文化遺産に対する意識が向上し、地域の文化遺産を次世代へ継承していく担い手を育成することができる。このことにより、祭礼の参加者および保存団体の会員数の増加を目指す。また、様々な方法で情報発信を行うことで、市内外の人たちへの篠山市の文化遺産に対する関心を高めることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	篠山市の自主財源で地域の歴史文化を活かしたまちづく事業助成金を募集し、篠山市の貴重な歴史文化を継承していくために、地域の身近にある「歴史文化まちづくり資産」を保存・活用する様々な取り組みを支援する。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
平成22年度に篠山市歴史文化基本構想を策定			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	篠山市教育委員会 文化財課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	祭礼の観光入込客数			関連事業:	④⑤⑥	
目標値1:	【現状値】平成31年度 2,060人 ⇒ 【目標値】平成33年度 3,558人					
設定根拠1:	平成30年度観光入込数より毎年1.2倍増加すると設定。					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
1,700人	1,700人					
-24%	-24%					
目標区分2:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分2:	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	住民意識調査による地域に誇りを感じる住民の割合			関連事業:	①②③④⑤⑥	
目標値2:	【現状値】平成31年度 57% ⇒ 【目標値】平成33年度 62%					
設定根拠2:	平成30年度の割合より毎年3%ずつ増加すると設定。					
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
55%	55%					
-40%	-40%					
目標区分3:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分3:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	祭礼行事等の保存会会員数			関連事業:	①②③④⑤⑥	
目標値3:	【現状値】平成31年度 277人 ⇒ 【目標値】平成33年度 277人					
設定根拠3:	地区の人口社会減の状況から現状維持以上の数値を設定					
進捗状況3:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
277人	277人					
#DIV/0!	#DIV/0!					

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	井ノ上子供囃子継承事業					実施団体：	井ノ上自治会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	子供の人口減少により、祭囃子の継続に困難が生じている現状を考え、対策として祭囃子のテープを作成し、後継者養成の一助とする。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	子供お囃子教室及び祭礼準備から祭礼当日までの運営にかかわった地区住民の数										
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 30 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 40 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
30 人	30 人	人	人	人	人						
0%	0%										
事業②：	福住中子供囃子継承事業					実施団体：	福住中自治会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	福住中地区では大人の囃子はなく、子供囃子の録音テープを流しているが、今後、中学生以下の子供を対象とした囃子教室を開催することで、後継者の育成や祭礼行事に対する住民意識の醸成を図る。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	子供お囃子教室及び祭礼準備から祭礼当日までの運営にかかわった地区住民の数										
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 25 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 31 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
25 人	25 人	人	人	人	人						
0%	0%										
事業③：	下立町子供囃子継承事業					実施団体：	下立町自治会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	子供の人口減少により祭囃子の継続に困難が生じている現状がある。このため、祭囃子の録音テープを作成し、中学生以下の子供を対象としたお囃子教室を開催し、後継者の育成や祭礼行事に対する住民意識の醸成を図る。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	子供お囃子教室及び祭礼準備から祭礼当日までの運営にかかわった地区住民の数										
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 33 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 43 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
33 人	33 人	人	人	人	人						
0%	0%										

事業④：	波々伯部神社おやま行事山車（井ノ上）修理事業				実施団体：	井ノ上自治会
事業区分：	用具等整備				事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 32 年度
事業概要：	波々伯部神社のおやま行事（祇園祭）に使用する井ノ上地区の山車懸想品幕類の修理を行う。平成29年度に見送り幕を修理したが、水引幕の修理ができていない。水引幕は刺繍糸が解れ、描かれている鶏や人物の図柄が損傷している。水引幕の保存のために、刺繍の修復を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	祭礼準備から曳行に至る中で、運営に携わった地区住民の参加数					
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 30 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 40 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
30 人	30 人	人	人	人	人	
0%	0%					
事業⑤：	住吉神社水無月祭の山車（福住中）修理				実施団体：	福住中自治会
事業区分：	用具等整備				事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 32 年度
事業概要：	水無月祭の祭礼で使用されている福住中区所有の山車「獅子王山」は経年劣化による損傷が著しく、曳行が困難な状況であったが、平成28年度に山車の構造材の修理、屋根裏の漆、金箔の補修を行い、翌年から曳行を再開することができた。平成29年度には懸想品の見送り幕の修理をおこなったが、屋根の修理ができていない。平成30年度は山車の保存のために経年劣化により損傷している屋根の屋根板および漆塗の修理を行う。修理に際しては、修理作業の公開を行い、修理事業の重要性について普及啓発を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	祭礼準備から曳行に至る中で、その運営にかかわった住民の数					
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 25 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 31 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
25 人	25 人	人	人	人	人	
0%	0%					
事業⑥：	春日神社祭礼の山車（下立町）水引幕修理事業				実施団体：	下立町自治会
事業区分：	用具等整備				事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 32 年度
事業概要：	春日神社の祭礼で使用されている下立町自治会所有の山車「高砂山」の水引幕は経年劣化による損傷が著しく、現状の刺繍幕を残して下地の移し替えを行う。修理に際しては、修理作業の公開を行い、修理事業の重要性について普及啓発を行う。保存修理にあたっては文化財的価値の保護のため、基本的に既存の形式、寸法を刺繍部分において踏襲して行う。 一般への普及啓発のため、修理作業や山車水引幕製作の伝統技術の公開も行い、地域の伝統文化を伝える山車や祭礼行事の継続、継承を推進する。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	祭礼準備から曳行に至る中で、その運営にかかわった住民の数					
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 33 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 43 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
33 人	33 人	人	人	人	人	
0%	0%					